

《 添付資料 1 》

早見 MG申請書の基本的な書き方（1・2枚は説明で3枚目から記入します）

【 プロジェクト概要 】

- 1、最初の部分で、何を寄贈するのかを明確に記載する。（メーカー名等は書かない）
- 2、次に誰が、どのように必要としているかを記載する。
- 3、人道的なプロジェクトであることの説明としてバックグラウンドを記載する
- 4、プロジェクト実施によってどのような効果が期待できるかを記載する。

（物品の寄贈以外のプロジェクトもあるから）

＜プロジェクトの維持について＞

- 1、受益者にNPOやNGOがあればそこに
- 2、現地でのメンテナンス指導などの計画があればその旨を記入する。

＜実施国と援助国が何をするかは下記の定型になっているので必ず入れる＞

実施国

- 1、プロジェクトの策定、プレゼンテーション、資金の管理、贈呈式と広報

援助国

- 1、視察、アドバイス、MG書類に協力、贈呈式参加と広報

【 プロジェクト予算 】

- 1、プロジェクトの総額が\$ 10,000以上でないとMGが認められない
- 2、業者見積もりを添付する
- 3、業者見積もりは\$換算値も一緒に記載する

【 プロジェクトの調達資金 】

- 1、クラブ拠出金には半額のWFが付加
- 2、地区DDF拠出金には同額のWF付加
- 3、D2660のDDFの1プロジェクトの拠出金の上限は\$ 5000です
- 4、ホストクラブは\$ 100以上拠出しなければMGが認められません
- 5、貧しい国は、ロータリー財団に寄付をしていないため、DDFの予算がない地域もありますので、相手クラブに確認してください。
- 6、資金の計算式は下記のようにして組み合わせます。

例：プロジェクト総額から（台北など豊かな国とのMGの場合の例）

プロジェクト総額 18000－（ホストクラブ拠出金 600＋その半額 300）－（ホスト地区 DDF 2800＋その同額 2800）－（第 2660 地区DDF 5000＋その同額 5000）＝1500
÷3分の2＝1000（日本側クラブ拠出金）

30%ルールで総額の3分の1以上を日本側が負担しなければMGが認められません

例：クラブ拠出金からプロジェクトを探す（カンボジアなどの貧しい国の場合の例）

（日本側クラブ拠出金 2000＋その半額 1000）＋（第 2660 地区DDF 5000＋その同額 5000）＋（ホストクラブ側拠出金 100＋その半額 50）＋（ホスト側DDF 0＋その同額 0）＝プロジェクト総額 13150ドル程度のWCSプロジェクトを探す